

●申込：講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい
●主催：宮城県（みやぎNPOプラザ） ●企画・実施：認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

NPO法人の理事会運営のポイント

NPO法人の理事は団体の活動・事業を執行する責任者です。この講座では、理事の役割や責任のほか、理事会ではどのようなことを話し合えば良いかなど、具体的な事例を交えながら学びます。

- 日時 12月14日(金) 13:30~15:30
- 場所 みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師 大久保朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるるの代表理事/みやぎNPOプラザ館長)
- 対象 NPO法人の代表者、理事など
- 定員 20名(先着順)
- 参加費 800円(税込)

認定取得への第一歩！認定NPO法人講座

認定NPO法人制度の基本をわかりやすく学び、認定取得のメリットやプロセスを学びます。「認定取得=難しい」というイメージを吹き飛ばし、一緒に認定NPO法人への第一歩を踏み出しましょう！

- 日時 1月31日(木) 13:30~15:30
- 場所 みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師 大久保朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるるの代表理事/みやぎNPOプラザ館長)
- 対象 NPO法人の代表者、理事、スタッフなど
- 定員 20名(先着順)
- 参加費 800円(税込)

マネジメント講座

みやぎNPOプラザ 事務室&ショップ・ギャラリー 使用団体募集

皆さんの熱い想いを実現させるため、事務室や常設ショップ・ギャラリーを活用してみませんか？メンバーがいつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発展につながります。この機会をお見逃しなく！

申込方法

みやぎNPOプラザ窓口、宮城県共同参画社会推進課などで配布している申込書をみやぎNPOプラザへご提出ください。申込書と募集要項はみやぎNPO情報ネットからもダウンロードできます。

- 募集施設：常設ショップ・ギャラリー、事務室(大)、事務室(中)、事務室(小)
- 募集団体数：各1団体
- 月額利用料：レストラン 15,400円(税込、その他電気ガス料金は実費負担)
常設ショップ・ギャラリー 10,200円(税込)
事務室(大) 18,500円(税込)
事務室(中) 9,200円(税込)
事務室(小) 4,100円(税込)
- 使用期間：1月4日(金)から、最長3年
- 募集期間：11月1日(木)~12月11日(火)

NPOのための専門相談

会計・税務相談(※無料)→1月24日(木) →3月26日(火)
○相談対応：岡田実さん(税理士) ○相談対応：平野由紀子さん(税理士)

日々の会計業務や、活動計算書などの作成、法人税や消費税などの税務申告について、NPO会計に詳しい税理士がご相談をお受けします。

設立運営相談(※無料)→毎週水曜日
○相談対応：NPO運営アドバイザー

NPOの設立や法人申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをいたします。

認定NPO法人申請相談→随時
○相談対応：大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)他

認定NPO法人制度の基礎、申請に向けての基準や申請書類の確認など、段階にあわせてご相談に応じます。

※相談時間：1団体1時間程度
※日程調整の上、日時を決定します
※認定NPO法人申請相談のうち、PST判定や申請書類等の確認は有料(1,000円(税込)/回)

■新規のNPO法人認証団体(H30.8.1~H30.9.30)

宮城県等	団体名	所在地	活動内容	認証日	仙台市	団体名	所在地	活動内容	認証日
	キッズアカデミー	名取市	子どもの健全育成を目的とした児童福祉関係	8/30		Lino Lea	青葉区	諸団体・行政と協働による地域活性化企画・運営事業 地域の各店舗・団体と提携した協力事業 新規開業者の育成指導に関する事業 他	9/7
	仙台スポーツ振興クラブ	塩竈市	スポーツを行う活動場所・機会の提供、人材の育成・指導者派遣	9/14		新浜オダツモッコ倶楽部	宮城野区	新浜地区の震災復興支援事業及び交流人口増加支援促進事業 住宅宿泊事業 レンタルサイクル事業	9/20

宮城県のNPO法人数 819団体 (平成30年9月30日現在)

宮城県等所轄：410団体 仙台市所轄：409団体
※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く



発行日 2018年11月1日
発行 宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
発行部数 3,000部
編集 認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ 堀川晴代 後藤和広 小野寺真美 丹野伶菜

【お問合せ】
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榎ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp
URL:http://www.miyagi-npo.gr.jp

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。



平成30年度NPO支援センター研修

NPOが力を発揮する支援のあり方を探る！

宮城県内には、地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体の運営や活動をサポートするため、行政のNPO支援施策として設置されたNPO支援施設が13か所あります。そのうち、指定管理や委託などでNPO法人が運営を担う施設は9か所、他は行政職員が運営しています。

NPO支援施設の主な役割は、会議室や印刷機などの施設や設備の提供と思われるがちですが、何よりも重要なのは、NPOや市民活動団体が抱える悩みや困りごとを解決しながら活動が継続できるよう、様々な方法で支えていくことです。それはスタッフの力量によるところも大きく、より効果的な支援をするには、携わる人のスキルアップが欠かせません。そのため、みやぎNPOプラザでは、毎年NPO支援センター研修を実施しています。

■専門性を持つ

8月31日に開催した研修のテーマは「NPO支援のあり方を探る基礎研修」。NPO支援施設や支援組織、行政の市民活動担当部署の職員15名が参加しました。

みやぎNPOプラザの大久保館長の講義では、NPOや市民活動団体の組織の特徴や、それらを取り巻く社会情勢などを学びました。行政が設置したNPO支援施設の運営をNPOが担う場合は、行政との協働が不可欠です。その時に重要なのは、「NPOならではの関わりによって、協働事業の質を向上できるような専門性や特性を持つ」ということ。専門性を持つには、知見を広げ経験を積むことが必要ですが、特に初任者は、まずは自分の好きなことや得意なことの専門性を高めることが近道ではないかというアドバイスがありました。例えば、IT関係に詳しい、会計の経験がある、チラシをつくるのが得意などのスキルは、NPOの運営にも役立つ

ものです。それらを磨き、NPO支援に活用することが、支援の質の向上にもつながります。

■支援を担うのは私たち

ワークでは、NPO支援施設を使う側の目線で、「あったらいいな」と思う支援を列挙しました。施設環境や設備のことに加えて、相談ができること、NPO運営に必要な情報をすぐに提供してもらえること、NPOが情報交換できる場があることなど様々なものが挙がりましたが、それを実現させるのは、ほかでもない現場で支援に携わる参加者たちです。そのため、今以上にNPOや市民活動を深く知り、知識を身につけ、主体的に取り組む姿勢が必要だと改めて気づきました。

参加者からは、「NPOにとって役立つ支援施設になるために、改めて小さなことから積み重ねていかなければと実感した」「市民に信頼される支援施設を目指したい」などの感想が聞かれました。

みやぎNPOプラザには、県内のNPO支援施設の運営をサポートする役割もあります。今後も、県内のNPO支援施設と連携しながら、NPOや市民活動団体が力を発揮できる環境づくりに取り組みます。



▲支援施設に必要な機能を話し合う

お金の管理 できていますか？

～現金・預貯金管理のポイント～



近年、NPOの助成金の不正受給や資金の使い込みなど、お金に関する不正やトラブルのニュースを目にすることも少なくありません。お金に関する大きな問題が発生してしまうと、メンバー間の信頼関係が損なわれてしまうだけでなく、対外的な信用も失い、活動や事業を続けていくことが難しくなってしまいます。そこで今回は、大きなミスや不正を防ぐために、現金・預貯金管理のポイントを確認しましょう。

■一人任せにせず、すぐに記録！確認！

入金や支払いなど金庫内のお金の出入りはあったのに、領収書などの証憑書類の整理や現金出納帳への記帳を後日まとめて処理していませんか？お金の出入りがあったら、その度に証憑書類を整理し、記帳しましょう。一日の活動や業務が終わる時に、記録と現金残高を突き合わせ、現金に過不足がないか確認します。証憑書類の整理と記帳を先のばしにしていると、現金と帳簿上の集計結果が合わなかった場合に、原因を特定し修正することが難しくなります。すぐに記録・確認すれば、過不足があった場合でも、どこでミスがあったのか原因も特定し修正しやすくなります。毎日現金を数えるのは大変かもしれませんが、急がば回れで、結果的にはこの一番楽で効率的です。このように、記録という当たり前のことを繰り返すことが大切です。

記録と現金を突き合わせたら、なるべく早く他のメンバーにも確認してもらいましょう。会計担当者以外の人も確認できる仕組みがあれば、一人きりで

お金を扱うことはなく、またミスが起こってもすぐに対処できます。

■支出理由は適正ですか？

代表者など誰か一人が通帳と印鑑、カードをすべて持って、会計担当者が通帳の内容を確認できない状況になっていませんか？これは不正につながりやすいので、本来であれば、カードは作らず、印鑑と通帳はそれぞれ別なメンバーが管理し、預金を引き出す理由が適正な場合のみ印鑑をもらうのが望ましいあり方です。それが難しい場合は、会計担当者が定期的に通帳の内容を確認できる仕組みを作りましょう。また、例えばメンバーから交通費の精算を求められた場合には、どの活動や事業の支出なのか、理由や経路などを具体的に領収書に記載してもらいましょう。それぞれの支出理由が適正であると、誰に対しても客観的に説明できることが重要です。

■役割と責任を明確に

NPOも内部統制の整備と運用が必要です。NPO法人であれば、代表者をはじめ理事会には、団体のお金を守る仕組み作りとその仕組みがしっかりと運用されているか確認する役割と責任があり、事務局にはその仕組みを着実に実行する役割と責任があります。さらに監事には、理事会や事務局が適正にお金の管理をしているか目を光らせる役割と責任があります。メンバーの役割と責任を明確にし、それぞれがその責任を全うすることで、大きなミスや不正が起らない体制を作ることができるのです。

みやぎNPOプラザでは、運営や会計に関する相談も随時受け付けています。団体のお金の管理の仕組み作りで困ったことがあれば、気軽にご相談ください。また、入出金の管理には、証憑書類の整理と出納の記録が同時にできる『NPO会計日誌』が便利です。プラザの窓口で1冊500円(税込)で販売しているほか、遠方の方には発送もしています。この会計日誌は、県内の多くのNPOが利用している密かなベストセラーです。プラザの相談や便利なツールを活用し、ぜひ、お金の管理の仕組み作りにチャレンジしてみてください。



▶会計日誌以外にも管理に役立つ冊子を販売しています！

【新施設】いわぬま市民交流プラザ開館

岩沼市市民活動サポートセンターは、10月1日に「いわぬま市民交流プラザ」内に移転しました。岩沼市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体や町内会、また自発的に地域の課題に取り組む団体やNPOの皆さんがより活発に活動できるよう応援しています。団体などの情報の受発信はもちろん、団体同士をつなげたり、活動に関する相談に応じることが出来ます。また、これまで年に2回、市民活動団体の活動発表や交流を行う「なかも交流プラス」というイベントを開催してきました。

10月の「いわぬま市民交流プラザ」オープンより、市民活動専門相談を月1回から月2回の開催にし、より多くの皆さんに相談していただけるような環境を整えました。印刷コーナーの充実やフリーWiFiも整備しているので、インターネットも快適に利用できます。今後も、新施設にて、引き続き皆さんの活動を支援していきたいと考えています。

10月1日に開館した「いわぬま市民交流プラザ」は、地域づくりや生きがいづくりなどを目的とした、市民が主体となって行うさまざまな活動や地域の活性化に資する経済活動の拠点となる施設です。施設内には、1階に市民活動サポートセンター、チャレンジショップ、交流スペースのほか、2階に多目的室や交流室といった貸室もあります。1階の交流スペースはどなたでも自由に利用可能なので、気軽に立ち寄ってください。



いわぬま市民交流プラザ

住所：岩沼市館下二丁目3番1号（岩沼駅から徒歩5分）
開館時間：9時～21時30分
休館日：年末年始（12月28日～1月4日）
電話：0223-35-7205
※駐車場に限りがあるので、ご来館の際はなるべく乗り合わせの上、お越しください。

プロボノ講演会・NPO×企業等の交流会 開催

県では、社会貢献活動への参加を望む企業や団体などに所属し、様々なスキルを有する人材を「プロボノ」としてNPOとマッチングし、NPOの運営基盤強化を図る「プロボノ」事業を実施します。今回は、プロボノ実施に先立ち、プロボノについて学ぶ講演会とNPO+企業等との交流会を開催します。NPOと企業等との協働事例紹介のほか、NPOが抱える課題等についてセッションも行います。ご興味をお持ちのNPO、企業等の皆様は県まで。

【日時・会場】

日時：平成30年12月4日(火) 午後1時～5時
会場：宮城県庁

【講師・ゲスト】

講師：特定非営利活動法人中部プロボノセンター 代表理事 戸成司朗氏
ゲスト：企業等との協働を行う県内NPO等

【プログラム】（内容は若干変更になる場合があります）

- ・プロボノを学ぶ講演会
- ・NPOの協働事例紹介
- ・NPO+企業等との交流会
（NPOからの活動紹介、グループセッション、交流会）

【参加対象】 社会貢献活動に関心のある県内企業、団体又は個人、県内NPO

【定員】 70名

【参加費】 無料

【申込方法】 県共同参画社会推進課ホームページに10月末頃掲載予定

【主催】 宮城県（共同参画社会推進課）